



高橋正弘

[あぶくま会]

公共施設の除染状況、除染土壌の移送完了時期は

特別養護老人ホーム等の入居待機者解消のための対策は

問 一般住宅等の除染がほぼ完了したが、公共施設の除染状況は。また、市全体の仮置き場設置数、仮置き場からの移送業務終了時期は。

答 一般住宅及び店舗、事業所等の除染を優先したことから公共施設の除染状況は、4月末現在で83.4%である。仮置き場は市全体で250カ所である。除染土壌の仮置き場からの搬出終了見込は、一般住宅除染分は平成33年度、その他事業所等の分は平成34年度を見込んでいる。

問 安達管内の特別養護老人ホーム等の施設数、

収容人数、入居待機者数は。また、待機者0のための対策について伺う。

答 特別養護老人ホームは8施設で635人、待機者は806人。介護老人保健施設5施設、465人で待機者191人。認知症高齢者グループホームは12施設、180人、待機者142人。待機者解消のため、市高齢者福祉計画・介護保険事業計画で特老1、グループホーム2施設を位置づけし、うちグループホーム1施設は4月に開所し、他施設は現在整備中である。

地域活性化のための農業振興策と観光連携は

観光都市「菊のまち二本松」復活への方策は



佐藤運喜

[市政刷新会議]

問 農業者への支援拡充と農産物ブランド化は。

答 地域農業の担い手である認定農業者とJAと連携して6次産業化、ブランド化を進め、国・県・市の補助メニューを組み合わせる支援を図る。

問 農家民泊と温泉観光地との連携は。

答 本市では、東和地域において現在22戸の農家が農家民泊として登録されている。グリーンツーリズムを念頭におきながら、市内の温泉地域と農家民泊等の連携を推進し、観光交流人口の拡大を推進していきたいと考えている。

問 観光都市「菊のまち二本松」復活の方策は。

答 地方創生交付金を活用した事業として、菊人形を軸に、プロモーション戦略を構築しPRを行っていく。その1つとして市内の小中学校にプランター菊栽培の協力を依頼し、児童・生徒の皆さんに菊を身近に感じてもらい、更には菊人形会場等、市内に飾ることで菊のまち推進の一翼を担ってもらいたいと考えている。このような事業を継続していくことで、市民参加による「菊のまち二本松」を推進していきたい。



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

介護保険の見直しで2割から3割負担となる対象者の数は

子育て支援センター費の増額は

問 次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の進捗状況と今後のスケジュールは。

答 昨年度、高齢者3,000人を対象にニーズ調査を実施、7月から11月にかけて計画等策定委員会及び庁内幹事会で素案をまとめ、12月の議員協議会で説明、パブリックコメントを実施し、広く意見を聞き、来年3月定例会に関係条例改正、保険料を含む関係予算を提案する。

問 来年度の見直しにより、介護サービス利用者で現在の2割から3割負担になる方の人数は。

答 直近の利用者実績で32人が該当する。

問 平成29年度に入り保育所入所の待機児童数は。

答 申請ベースで96人となっている。

問 市の子育て支援の中心を担う二本松地域子育て支援センター費の増額はできないか。

答 今後とも子育て支援のため、良質なサービスが提供できるよう十分検討していく。

問 子育てハンドブックの活用は。

答 毎年1,600部を作成し、市の窓口等で配布し、情報が必要な方々に届くよう努めている。

今年度からの市鳥獣被害防止計画は

デマンドタクシーの運行改善は



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

問 今年度スタートした二本松市鳥獣被害防止計画のこれまでの計画との違いは。

答 過去3年間の被害状況や従来の対策を分析して見直したものであり、侵入防止柵（電気柵）の整備拡充を図っていく計画となっている。

問 イノシシ捕獲後の処理方法の議論はどこまで進んだか。

答 焼却施設の検討に加え、微生物の働きによる分解処理装置の情報収集を進めている。従来の埋設処理や耕作放棄地等を活用した処理方

法の検討も含め、当市に合った最も効果的な処理方法について、協議を進めていく。

問 デマンドタクシーの運行は旧町毎に1つの運行エリアに改め、市民生活の利便性向上を図るべきではないか。

答 岩代地域と東和地域のそれぞれ2コースの一本化については、利用状況や市民の意見等をふまえ、運行経費や時間設定、台数等を勘案し、利用しやすくなるよう、引き続き市地域公共交通活性化協議会で検討していく。



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

問 県の国保運営方針と今後のスケジュールは。

答 県から近く素案が示される。10月頃より県への納付金推計が行われ、来年1月に市町村への納付金、標準保険料が示される予定である。

問 国は、子どもの医療費窓口無料化にペナルティをかけているが、解消すべきではないか。

答 0歳から高校3年生までの無料化による減額調整額は平成28年度決算見込額で790万円。来年度、未就学児分308万円が解消される見込み。ペナルティ分の一般会計から国保会計への繰

国民健康保険の全県一元化と税率改定は

市営住宅入居への保証人の取り扱いは

り入れは、制度が確定してから検討したい。

問 市営住宅入居に際して2人の保証人が必要となっているが、国の通達では、市長が「特別な事情がある」と認めた場合、保証人を必要としないことができるとされ、生活保護世帯もこれにあたりと考えられるがどうか。

答 「特別な事情があると認める」場合とは大災害や配偶者からの暴力被害者などであると考えている。制度上の問題や住宅管理上の課題等がないかを考慮して検討していきたい。

農道除染は行わないのか

長命工業団地の進捗状況は



平塚 與志一

[真誠会]

問 本宮市は全ての農道除染を行っているが、二本松市は1.5kmしか行わず、それ以外の農道除染は行わないのか。

答 農林課で行った環境放射能簡易測定結果を基に現地調査を行い、比較的線量が高い農道を選定し結果として1.5kmを実施している。

問 農道除染については、平成27年3月議会から5回一般質問を行い早急に対策を行うよう提言してきたが、再度検討していただきたい。

答 関係各課で連携しながらどのような形で実施

できるか検討していきたいと考えている。

問 長命工業団地は前市長の時に計画を立てて地元説明会を行った。市長就任4年目になるが農振除外も終わらず遅れているのはなぜか。

答 農振除外については、第1種農地のため工業団地開発のための転用は認められないこととされていたが、特例の支援措置により可能となる旨、県の見解があった。実施計画を来年3月までには策定し、県の同意を得て農振除外の本協議に入れるよう事務を進めている。